

リズム4 J=88

このせかいのだれーもが きみそむすれさーっても ずいぶんふけたねってきょうもとなりでわうから

おびえなくていいーだよ そのままのきみでいいーだよ ふえたしわの かずーそと なりでかぞえながら

ぼくらのじんせーいが さんもんしょうせつだーとしても ながうる きはないーねなんでもかきなおすよ

あのころのかがやーきが いきそむせめたとーとしても ずいぶんふけたねってあすもとなりでわうから

だれもがあいまいーかせ いつまでもさまようーさだめ このはなしのはてーのそのさきをかせきたすよ

かなしめないでいいーだよ そのままのきみがいいーだよ すげゆくびょうしんーそと なりでかぞえながら

しんじつとーむきーあうーためーにはーひとりにーなら なきゃーいけないーときーがある

とめどなくーながる なみだあめがーしょうせつーのようーにじんせいーをーなんしようにーもくづつてくれるから

あやまちだーとわかっていーてもーなおいえがきつーづけたいーもののがたりがあるよ

おろかだーとわかっていーてもーなおいえがきつーづけたいーもののがたりがあるよ

あーだぶんばかりの きやくほんーとさんもんしーにいつまでも つきあって いたいのさーあーきみのぶき

あーたちつくした あ の ひ の た よ り ないーせなかをーいまなら つよくおしてみせるからーあーぼくのくだら

よう な ひょうじょうや ことばーひとつでー すぐわれるぼくがいるーからー ほほえんだきみがいるーから

あーだぶんばかりの きやくほんーとさんもんしーにいつまでもー つきあって いたいのさー

あーきみのぶき よう な ひょうじょうや ことばーひとつでー すぐわれるぼくがいるーからー ーたちつくし

た あ の ひ の た よ り ないーせなかをーいまなら つよくおしてみせるからー ぼくのくだらない ひょうじょうやこ

とばーひとつでー ほほえんだきみがいるーからー

Coda
なりでかぞえながらー

※この世界の誰もが 君を忘れ去っても
随分老けたねって 今日も隣で笑うから
怯えなくて良いんだよ
そのままの君で良いんだよ
増えた體の数を隣で数えながら

僕らの人生が 三文小説だとしても
投げ売る気は無いね 何度でも書き直すよ
誰もが愛せ いつまでも彷徨う定め
この小説(はなし)の果ての その先を書き足すよ
真実と向き合うためには
一人にならなきゃいけない時がある
過ちだと分かっているも尚
描き続けたい物語があるよ

◇あゝ
駄文ばかりの脚本と 三文芝居にいつ迄も
付き合っていたいのさ
あゝ
君の不器用な 表情や言葉一つで
救われる僕がいるから

あの頃の輝きが 息を潜めたとしても
随分老けたねって 明日も隣で笑うから
悲しまないで良いんだよ
そのままの君が良いんだよ
過ぎゆく秒針を隣で数えながら
止めどなく流るる涙雨が
小説のように人生を何章にも
区切ってくれるから

愚かだと分かっているも尚
足掻き続けなきゃいけない物語があるよ
☆あゝ
立ち尽くした あの日の頼りない背中を
今なら強く押して見せるから
あゝ
僕のくだらない 表情や言葉一つで
微笑んだ君がいるから

◇印くりかえし
☆印くりかえし

※印くりかえし